

総武線沿線地域の夜間定時制高校を希望する生徒の

受け入れ枠確保を求める陳情

2004年 10月

東京都議会議長 内田 茂 殿

<陳情事項>

東京都において平成18年度に向け、総武線沿線の墨田・江東・江戸川地域にある都立夜間定時制高校の生徒募集に際し、希望する生徒の学習する機会を保障するため、受け入れ枠確保の十分な対応措置を講ずるよう東京都教育委員会に要請していただきたい。

<陳情理由>

今年の入試で江東区に大江戸高校が開校し、一次入試で501名が受験し388名が不合格となり、分割後期入試では201名が受験し170名が不合格となりました。周辺の深川・東・深川商業(合計150名定員)が同時に募集停止になったこともあり、墨田・江東・江戸川地域にある10校の定時制の二次募集に応募者が殺到し65名の不合格者が生まれ、結果的に高校進学をあきらめた例もあります。このことは、募集停止校の受け入れ枠を確保して新設校を開校しても広い地域から応募があり、地元の生徒の多くは入れず、はじき出されてしまうことを示しており、中学校現場や地域住民から心配と不安の声が高まっています。

平成18年に台東地区昼夜間定時制高校が開校する時にはもっと深刻な事態が予想されます。もともと江東・江戸川地域から台東地区に通える条件の生徒はほとんどいない上に、総武線沿線で4校の定時制高校が同時に募集停止になれば、今年10校で420名受け入れ枠があったものが6校で240名と大きく減り、多くの生徒が全く行き場を失ってしまいます。現在夜間定時制高校には、様々な事情や経歴を持った生徒が通ってきています。近くにあって家庭的な雰囲気のため夜間定時制だから通えるという生徒も多くいます。こうした生徒の学習する機会を保障するためにも、決まった計画だからと一律に募集停止や廃校にするのではなく、新たな事態に適切に対応出来るよう該当校関係者や地元の意見を十分聞き、生徒受け入れ枠確保ため募集停止時期の延期等、十分な対応措置を講ずるよう陳情いたします。

総武線沿線夜間定時制高校の教育を考える会

世話人代表

高橋 彦博

氏 名	住 所	印

*本人自筆の場合には「印」は不要です。代理署名した場合に「押印」して下さい。